

マンションの“リノベーション”

お客様紹介 M様邸

今回ご紹介させていただく物件は築28年の3LDKマンションのリノベーションです。中古マンションをご購入された若いご夫婦の暮らし方に合わせて、心地よく過ごせるように間取りや機能を刷新し、新しい価値と空間を生みだしました。ホワイトベースに、ナチュラル&シンプル。落ち着いたある北欧テイストのお部屋に仕上がりました。

11.3帖のLDKは、隣接する6帖の和室をオシャレな洋室に変更することにより、つながりが生まれ広く開放感のある空間へと変わりました。



Before



吊戸棚を無くすことにより圧迫感も解消され、明るく開放的なキッチンに生まれ変わりました。壁面収納を造作し、すっきり片付くLDKとなりました。

After



Before



LDK併設の和室スペースもフローリングに変更しました。ドアの位置と吊り型の引き戸に変更したことで、和室との段差もなくなり、バリアフリー化を実現しました。

After



最新のタンクレス便器と壁付け手洗い。クロスにとことんこだわったオシャレな空間に仕上がっています。

にぎわい

【発行元】 第220号
株式会社 大兼工務店 いちご倶楽部
0748-42-1151

◆ topics ◆
お客様紹介 M様邸
創業101周年記念式典
地域のお役立ち推進委員会Presents
キラリまちの人 田附 真佐江様
シャンプリーズ守山6丁目
Dタイム
Information

地域のお役立ち推進委員会 Presents

イベント情報



2023夏

秋冬イベントは

たくさんの方にご来場いただきました！
2023夏も、楽しいがいっぱい！

夏のイベント始動・・・
子どもたちと夏の思い出を

能登川夜市

主催：のとフェス実行委員会様
場所：能登川駅 E2PARK 駐車場

**大兼工務店からも
出店予定！！**

楽しい遊びや、飲食コーナーを企画されています。
詳細決定をお楽しみに
*天候や状況により、延期・中止になる場合もあります。ご理解の程よろしくお願致します。

NOTOGAWA 2023
07/16(SUN)
08/20(SUN)
09/10(SUN)
14:00START 21:00END

詳細後日Instagramで配信
Instagram @team_doboku.daikane
@daikanenoie



現在進行中・・・古着回収7/29まで

必要としている人
のもとへ届けよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



101th 創業101周年 記念式典

当社、大兼工務店は、昨年の記念すべき100周年から新たな世紀のスタートを切りまして、本年101周年を迎える事ができました。これも、ひとえに創業当時からお引き立て頂いている多くのお客様からのご支援の賜物でございます。

また、これまで多くのお客様からのご厚情を頂きましたのも、パートナー企業の皆様からのご協力があった事でございます。

以前の式典では、「来年はマスク着用のない皆様の笑顔を見ながら開催できれば」との願いをここ数年ずっと掲げておりました。やっと、本年の式典から、マスク着用が任意となり、同じ空間にて、開催する事ができるようになりました。

第一部は、社員表彰式、第二部は、上半期の振り返りと下半期の方針発表を行いました。第三部では、人を動かすコミュニケーションアドバイザーで、ボイスメール事業や話し方教室等多数の事業を展開されていらっしゃるアンジェド ボヌール代表 大島美香様をお招きし、「五感を使ったコミュニケーション」と題しまして、ご講演を行って頂きました。対面の醍醐味を感じさせて頂ける内容で、社員一同、同じ場で同じ時間を共有できた事を嬉しく思います。

また、弊社 常務取締役 宮本正和によるエマジェネティクス活用アクティビティを行いました。人が日常的にどのように脳を使っているか、重視する思考と取りがちな行動を数値化したプロフィールを用いた心理測定ツールで、だいかねの多様性について学びました。グループディスカッションでは多いに盛り上がり、楽しい学びの場となりました。

101周年のスタートにふさわしい式典となり、弊社の団結力を再認識する事ができました。地域の皆様にとって「身近な相談相手」となり得るよう、今後も精進してまいります。



キラリ まちの人

田附 真佐江さん



今回は東近江市佐生町（旧能登川町）にお住いの舞踏家、日本舞踊宗家藤間流の師範である田附真佐江さんをご紹介します。

宗家藤間流は藤間勘兵衛が始祖として、今日まで300年以上の歴史が息づく伝統ある日本舞踊の流派です。日本舞踊界を代表する名振付師として、現在も宗家三世勘十郎・八世勘十郎とともに日本舞踊の伝承ならびに、歌舞伎舞踊の振付指南等に活躍されています。田附さんは6才で入門され、宗家藤間流の名執に27才で合格され、宗家藤間流が三味線を弾くという芸名を名乗ることを許されました。更に32才で師範に合格され、舞踏家を目指す弟子の育成・指導をされています。ちなみに、名執とは舞踊の技芸で一定の技能を習得して、家元や師匠から由緒ある芸名を名乗ることを許される人。師範とは、舞踊の技芸などを専門に教える資格を持っている人のことです。



その田附さんは、祖父は尺八の奏者、祖母は詩吟の歌い手、叔母は日本舞踊の演者、父は笛、母はお琴と今藤流三味線の長唄の師範、姉も日本舞踊に親しまれるという、根っからの芸能一家で育たれました。「学校で習わない事を習え」というお母さんのすすめで、茶道や華道とあらゆるものを習われたのですが、今ま

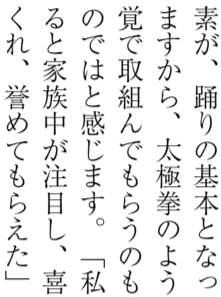


で続けられたのが唯一日本舞踊だったと笑われます。「当時は京都から踊りの先生が来られて、公民館や公会堂で人々のお弟子さんが稽古をされてたんですよ。最初は着物を着せてもらって喜んで、舞を見るのが嬉しくて、動きのある踊りがとても好きになりました」と田附さん。毎年開催されていた発表会も、親御さんや関係者の手作りの舞台で、アットホームな雰囲気での発表の場だったようです。一番の思い出は「高校生の時に私が踊り、おばあちゃんが唄い、お母さんが三味線を弾くという三代で出演した時のこと。今でも忘れられない舞台のひとつです」と話されます。わずか50年ほどの能登川は、そんな伝統文化を楽しむ風情があったんですね。

今では日本舞踊を習われる人は減りましたが、田附さんは30年もの間、敬老会などで地域を回り「お年寄りの喜ばれる顔が見たい」とボランティアで日本舞踊を舞われています。更に歌手の地方公演の時には、プロダクションから賛助出演の音が掛かり、日本舞踊を披露されるとのことです。「踊りの発表会の開催には大きな費用が掛かりますから、なかなか開催する事はできません。けれど、見てもらってこそ芸に磨きがかかりますから、この様な場を活用



して日本舞踊を普及するPRと自分とお弟子さんの修練の場にしてるんです」と話されます。田附さんが師事していた師匠方が他界され、7年前から宗家・八世勘十郎さんに師事され、大阪の稽古場で直接の指導してもらえる機会を得られました。宗家に直接教えられるって、凄いいことですね。



コロナ禍の影響で文化活動が減って、危機感を持たれている田附さん。「時代の流れはあるけど、伝統芸能文化をなくしたくない。続けたい」と強い想いを持たれて、踊りのすそ野を広げる活動が続けられています。着物への抵抗感、お金がかかると思われ固定観念、これらを打ち消し、克服する方法はいくらでもあると田附さんは言われます。体幹を鍛えるすべての要素が、踊りの基本となっているから、太極拳のような感覚で取組んでもらうのも良いのではと感じます。「私が踊ると家族中が注目し、喜んでくれ、誉めてもらえた」と田附さんが言われる様に、一家が夢中になれる楽しさを伝えて欲しいですね。

藤間流 藤間勘真歳 090-1488-4307

第177章 タイム

先日、当たり前のことが当たり前のようにできない、やらない・・・そんな場面に遭遇しました。確かに時勢時流に合っていくことが最も重要ですが、「人は人との出会いで人生を豊かにして成長させてくれる」このフレーズに感動しました！このフレーズに触れることができるエピソードを、皆さんにご紹介させていただきます。では、始まり、始まり・・・

「出会いの贈り物と感謝の気持ち」
私の名前は佐々木真一、中学3年生です。ある日のこと、私は学校から帰ると家の前で見知らぬ男性が立っていました。その男性は私に向かって微笑みながら手を振り、名前を呼びました。私は驚き、警戒心を持ちました。しかし、その男性は優しく微笑みながら、「君は佐々木真一くんだよな？」と私に話しかけてきました。私は戸惑いながらも、彼が何者なのかを尋ねました。すると彼は、私が幼い頃に遊んでくれたおじさんだと自己紹介しました。しかし私はそのおじさんの顔を覚えていませんでした。それでも、彼の言葉には何となく真実味があり、私は彼を信じることにしました。おじさんは、私が小さい頃に一緒に遊んだ公園の話を始めました。彼の話すエピソードは、私の記憶の隅々に蘇ってきました。私たちは一緒に公園で遊んだこと、彼が私に風船を買ってくれたこと、すべり台で転んで泣いた私を慰めてくれたこと。彼の話を聞くうちに、私は少しずつそのおじさんのことを思い出していきました。そして、私はそのおじさんが、私にとって大切な人であることを再認識しました。おじさんは私の再会を喜び、私たちは再び公園で遊ぶことを約束しました。そして、その日から私たちはよく公園で遊ぶようになりました。おじさんは私にサッカーを教えてくださいました。私はおじさんに絵を描いて見せました。私たちは一緒に過ごす時間を楽しみ、私はおじさんを「第二の父」と呼ぶようになりました。ところがある日、おじさんが公園に来なくなりました。私は何度もおじさんを待ちましたが、彼は二度と現れませんでした。私はおじさんが何かあったのではないかと心配しました。

た。そしてある日、私はおじさんからの手紙を受け取りました。その手紙にはおじさんが重い病気にかかっていること、そして、私との時間がとても楽しかったことが書かれていました。私はその手紙を読み、涙が止まりませんでした。おじさんが私に送った最後の言葉は、「真一くん、ありがとう。君との時間は私の宝物だったよ」というものでした。その手紙を読んだ瞬間、私は初めて大人の世界の厳しさと切なさを知りました。私はおじさんの病気が治ることを祈りましたが、それは叶うことはありませんでした。数ヶ月後、おじさんは静かにこの世を去りました。私はおじさんの葬儀に参列し、彼の最後の別れを告げました。その日、私は初めて人の死というものを身近に感じ、深い悲しみを体験しました。同時に、おじさんと過ごした時間の価値を改めて感じ、彼への感謝の気持ちでいっぱいになりました。おじさんは私にとって、ただの見知らぬ人から親しい存在へと変わりました。彼の存在は私の中に深く刻まれ、私の人生を豊かにしてくれました。今でも私は、おじさんと過ごした時間を大切に思い出します。彼が私に教えてくれたこと、一緒に過ごした楽しい時間、そして彼から受けた愛情を胸に刻みつけています。私の中にはおじさんがまだ生きています。彼は私の心の中にいつまでも残り、私の一部となりました。そして私は、おじさんとの出会いが私の人生を豊かにし、成長させてくれたことを感謝しています。私たちは誰もが人生の中で出会いと別れを繰り返しています。そして、その中で私たちは成長し、人生を豊かにしていきます。だからこそ、出会いを大切に、そして、その人々への感謝の気持ちを忘れないでください。それが、私がおじさんから学んだ、そして今皆さんに伝えたい大切なメッセージです。

このおじさんは真一君の誰だったのでしょうか・・・。謎めいたところがありますが、「第二の父」と表現していますが・・・。「人は人との出会いで人生を豊かにし成長させてくれる」その通りですね。だからこそ、コミュニケーションをしっかりと意識してとり続けることが人が多く集まる会社では必要なことです。大兼工務店は、これからもコミュニケーションを大切に運営して参ります！ by ありがとうマン

だいかねの家

利便性抜群！人気のエリア
シャン・フリーズ守山6丁目
好評!! 土地分譲中

学校・病院・スーパー・商業施設が徒歩圏に揃う好立地！
緑あふれる公園も充実の閑静な住環境は子育てファミリーに最適です

全11区画	号地	面積	販売価格
	1号地	169.29㎡ (51.21坪)	2,308万円
	4号地	184.01㎡ (55.66坪)	2,395万円
	6号地	169.22㎡ (51.21坪)	2,253万円
	7号地	169.51㎡ (51.27坪)	2,179万円
	8号地		商談中
	9号地	169.53㎡ (51.28坪)	2,205万円

山手線から徒歩20分！JR守山駅から新快速利用、京都駅まで25分、大板駅まで55分。通勤通学も軽快です。

全区分51坪以上！！日当たりの良い広々とした敷地にゆとりの住まいを建築可能。前面道路は駐車もしやすい6m。

高度な技術で夢も形に！長期優良住宅のご提案も可能です。「収納スペースがほしい」「キッチン動線を便利にしたい」生活の中の理想を叶えます。

Contact お電話 受付時間 9:00-18:00 0120-15-4939 お問合せ フォーム

LEE My star aquiras+ だいかねの家 TEAM DOBOKU

Instagram フォローする お願いします。 QRコード

YouTube チャンネル登録 お願いします。 だいかねの家_大兼工務店 QRコード